

# DIGITANA SLS

# 小船 1000EV/2000EV

## 取扱説明書

## SHIMANO

このたびは、デジタナSLS小船1000EV/2000EVをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、デジタナSLS小船1000EV/2000EVではシマノ独自のSLSII(シマノ・ラインプログラム・システム2)を搭載。

さらに、上から棚を取る釣りと、底から棚を取る釣りに必要な水深を一目で表示する新カウンターを採用するなど、より正確な棚取りを可能にしました。

小船の機能をフルに引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

# 特長

## 1 「上からモード」「底からモード」切り替えて 棚の水深が一目でわかる新カウンター。

船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上（水面）からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何mか巻き上げて棚を取る方法の2種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といったように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。

## 2 SLSI(シマノ・ラインプログラム・システム2) を搭載。すばやく、正確にタナを狙えます。

リール本体からローラーをなくしたので、シカケの落下が速くなり、しかもローラーのスリップによる誤差もありません。

## 3 デジタナSLS小船1000EV/2000EV だけの簡単操作。

正確な水深を表示させるための0セットシステム。

アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。

高切れをしても安心な、  
ワンタッチ高切れプログラム補正システム。

精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。  
(100m以上は1m単位)

スタードラッグは、スムーズで強力な締付力を実現。

ファインセラミックガイドリング採用のDDL  
(ダイレクトドライブレベルウィンド)。

ラインのからみにくい新設計レベルウィンド。

レベルウィンドで指をはさむのを防止する、  
セーフティレベルウィンドカバー。

# デジタルカウンターの各部の名称

## 現在の水深

「上からモード」の時は水面からの水深、「底からモード」の時は底からの水深を表示します。

## 各種表示

底：底からモード時に点灯します。点灯のない時は上からモードです。  
学習・指定・下巻：各モード時に点灯します。  
0セット：0セット受付時に点灯します。

## モードボタン

(6～11ページ参照)



ワンタッチ

押すごとに学習・指定・下巻の順でモードが切り替わります。

## ON/上底切替・OFFボタン

(6・14ページ参照)



ワンタッチ

電源をONにします。その後は押すごとにそれぞれ底からモード・上からモードが切り替わります。



3秒以上

電源をOFFにします。

ON/上底切替



OFF  
モード



メモ



0セット

## メモ・0(ゼロ)セットボタン

(12・13・15・16ページ参照)



ワンタッチ

上からモードの時に現在の水深をメモリーします。「底からモード」の時には同時に現在の水深が0.0になり底からのカウントになります。



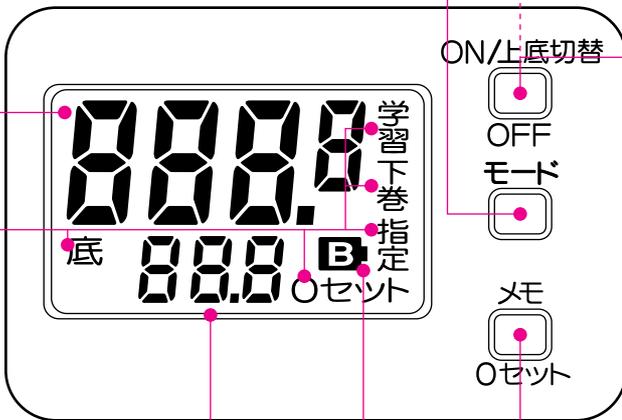
3秒以上

0セットします。シカケを水面に合わせて0セットしてください。

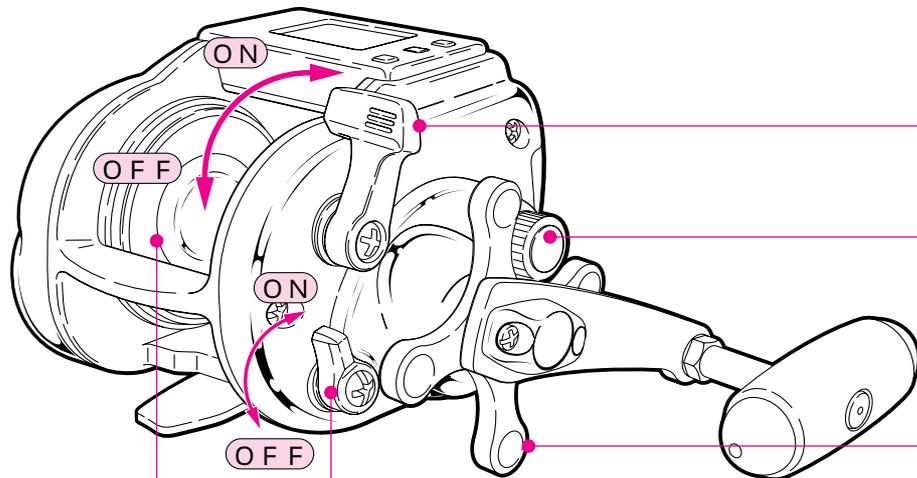
## メモカウンター

メモリーした水深を表示します。

電池の交換時期になると点灯します。



# 各部の名称



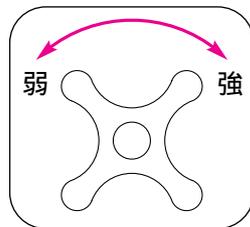
**下巻ライン**  
下巻きをする目安のラインです。  
(11ページ参照)

**ストッパー切換ツマミ**  
ON : ハンドルは正転の巻き上げ方向のみ回転。通常この位置で使います。  
OFF : 正、逆両方回せます。

**クラッチ**  
ハンドル正転または手で戻すとONになります。  
ON : シカケの巻き上げ  
OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

**スプールコントロールツマミ**  
スピールの回転にブレーキをかけてバックラッシュを防止します。

**スタードラグ**  
魚が強く引いた時ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。



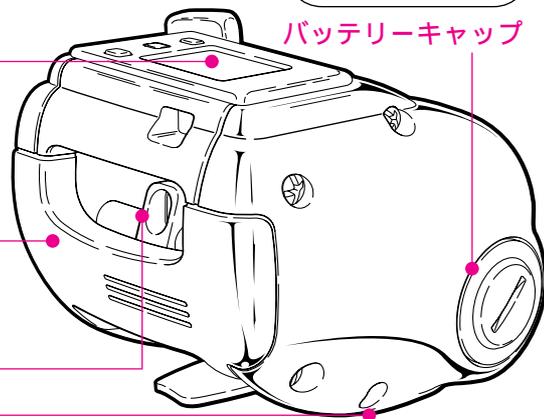
**デジタルカウンター**

**セーフティレベル  
ワインドカバー**

**DDL (ダイレクト  
ドライブレベルワインド)**

**ラインホルダー**

**バッテリーキャップ**



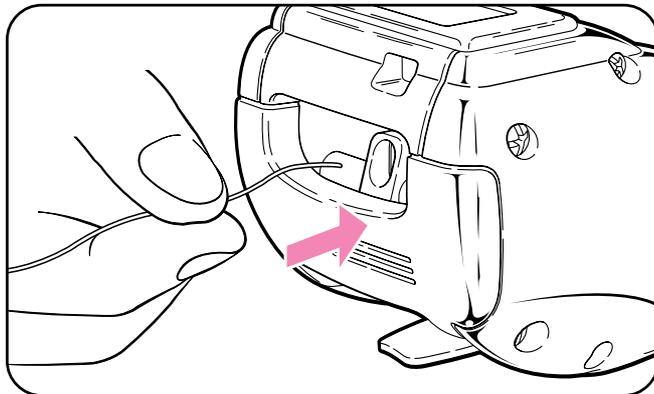
# 学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行ってください。

## 1 糸をセットします。



**1** 図のように糸をレベルウィンドに通します。

**2** 糸をスピールのピンに結んでください。

**3** 1～2回ハンドルを正転させ、スプールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

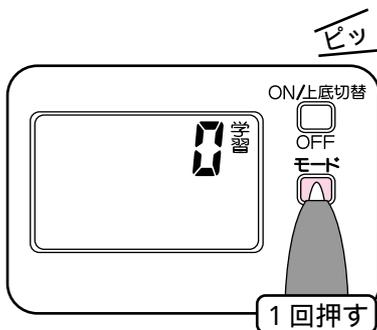
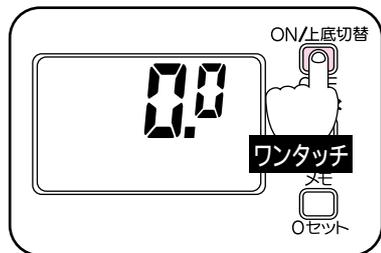
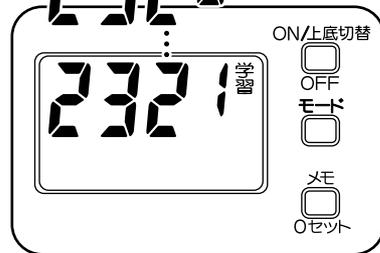
## 2

その1: PEライン(新素材系)を巻かれる場合 学習モードを使用します。

ナイロン系(メータのマーカのない系)を巻かれる場合は8・9ページをごらんください。  
また、デュラPE(新素材)5号-200m(1000EV): 6号-200m(2000EV)巻いたデータはすでにインプット済みです。(指定モード・10ページ参照) 下巻を行っての学習も可能です。  
(下巻モード・11ページ参照)

2319 ● スプールの回転数を表示します。

2320



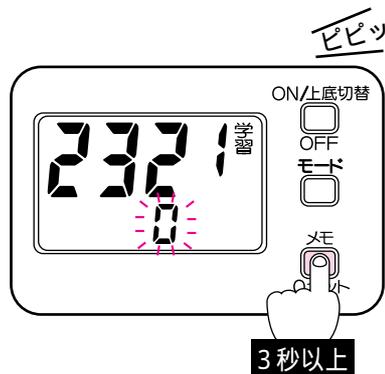
- 1 電源ONを確認してください。  
液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。点灯していない場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒未満押し続けて電源をONにしてください。

### 電源をOFFする方法

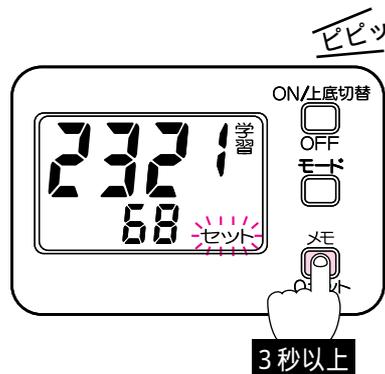
40分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。  
ご自分でOFFにされる場合は、ON/上底切替・OFFボタンを3秒以上押し続けてください。

- 2 モードボタンを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。  
モードボタンを2回以上押しすぎて指定・下巻・修正モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押し続けてください。(モードボタンはペン先のような先の細いものなどで操作してください。)

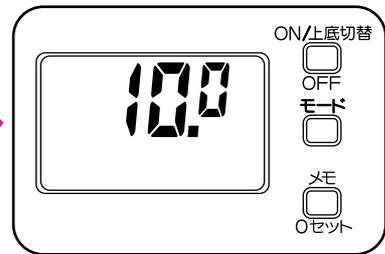
- 3 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約1000gのテンションを目安にしてください。)



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、底メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)  
糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。



- 5** 回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、底メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。  
各入力途中でモードスイッチを誤って押ししてしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

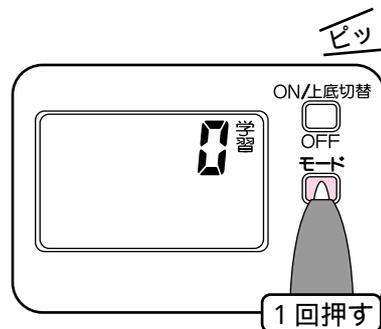


- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。

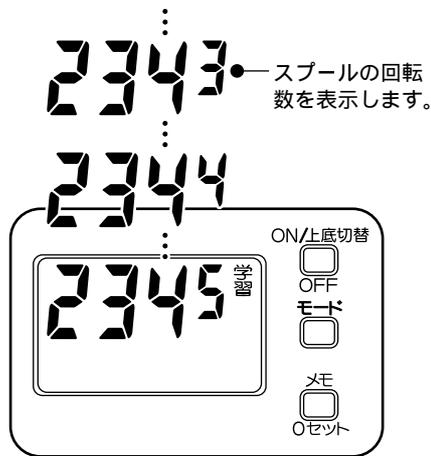
- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

# 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

その2： ナイロン系 (メータのマーカのない系) を巻かれる場合  
学習モードを使用します。



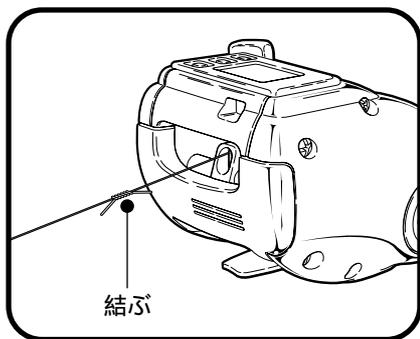
- 1** 電源ONを確認してください。  
モードボタンを1回押すと「学習」が  
表示され、学習モードになります。  
(モードボタンはペン先のような先の  
細いものなどで操作してください。)



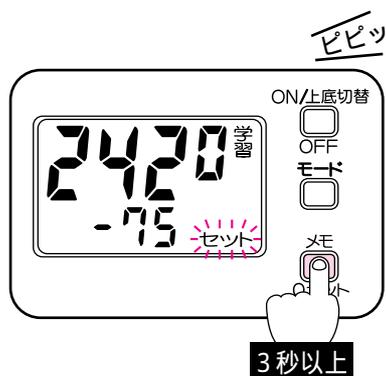
- 2** 糸を巻いてください。  
回転数が表示されます。  
実際に釣りをするときと同じくらいの  
テンションで糸を巻いてください。  
(約1000gのテンションを目安に  
してください。)



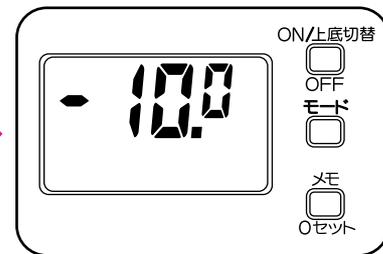
- 3** 糸を完全に巻き終えたら、底メモ・  
0セットボタンを3秒以上押してくだ  
さい。  
表示は図のようになります。



- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



- 5** 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

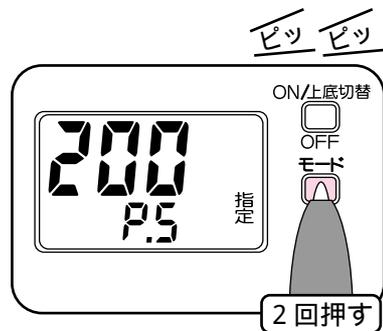


- 6** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
 (糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)  
 誤差とは、学習後最初の1投目の誤差です。
- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

# 学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)

その3 : シマノ・デュラPE 5号-200m (1000EV) : 6号-200m (2000EV) を巻かれる場合 指定モードを使用します。

このリールにはデュラPE (新素材) 5号を200m (1000EV) : 6号を200m (2000EV) 巻いたデータがインプットされています。この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



- 1** モードボタンをペン先のような先の細いもので2回押してください。「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。(2000EVの場合は下図のような表示になります。)

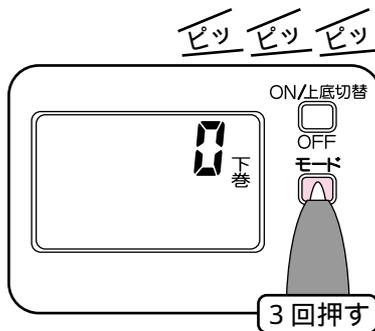
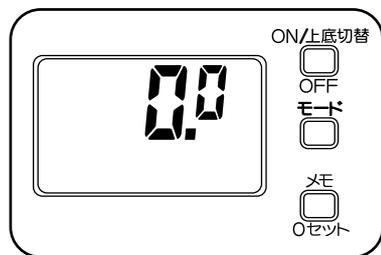


- 2** 糸を巻いてください。表示はこの時変化しません。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約1000gのテンションを目安にしてください。)

- 3** 糸を完全に巻き終えたら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになり、「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、その後次のモードになります。

# 学習方法 (下巻をした後で学習が行えます。)

その4 : 下巻をしてPE 4号-200m (1000EV)  
: 5号-200m (2000EV) を巻かれる場合  
下巻モードを使用します。



- 4** 表示がもとのモードに戻り、学習は完了です。  
(先に指定糸を巻き取り、**1****3****4**の順で学習を完了することも可能です。)

ご注意：他社PE 5号-200m・PE6号-200mを使用される場合、カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

- 1** 下巻モードに入る前に、スプールの下巻ラインまで下巻を行ってください。その後、PE4号-200m (1000EV) : PE5号-200m (2000EV) を結んでください。
- 2** モードスイッチを3回押してください。  
「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。

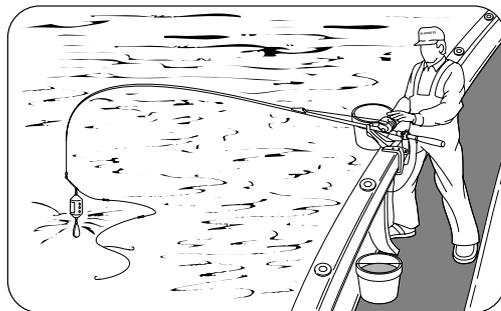
その後、6・7ページの**3** ~ **7**と同様の方法で学習を完了してください。

# 0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行ってください。)

## 3 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。  
そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。  
「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、  
正確な棚取りを可能にします。

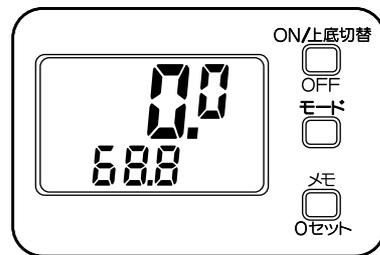
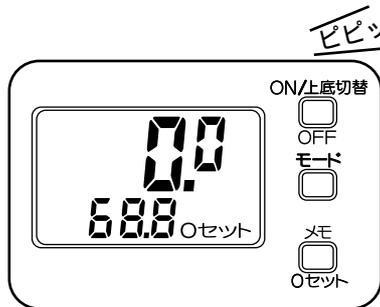
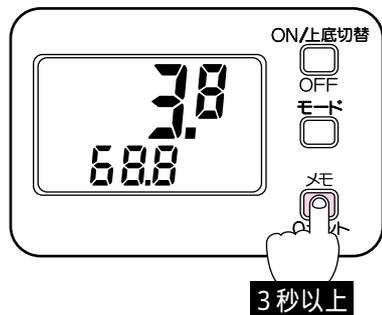


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1** シカケを水面に合わせ、0セットボタンを3秒以上押し続けて下さい。  
(図は上からモードになっています。)

- 2** 下図のように表示が変わります。  
(現在の水深が6.1m以上の時は、いったん「ピッ」のアラームとともに底メモとして受け付けますが、そのままボタンを3秒以上押し続ければ、再度0セットとして上図のように受け付け直されます。)

- 3** 0セットの表示が消えれば、これで完了です。



# 0(ゼロ)セットについて

## 4 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。

次に糸を出すと、マイナス表示からプラス表示へと変化します。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

## 5 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**5**の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。

これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

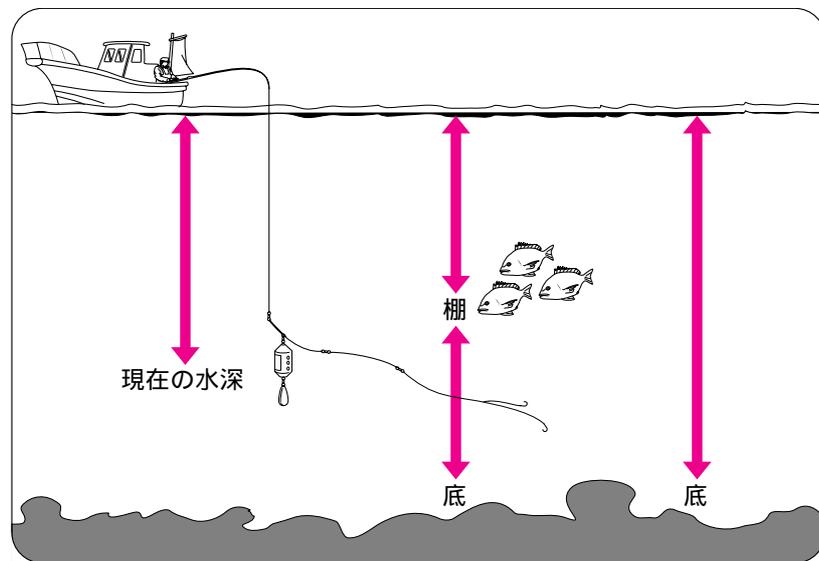
# 2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

## 6 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてくださいます。

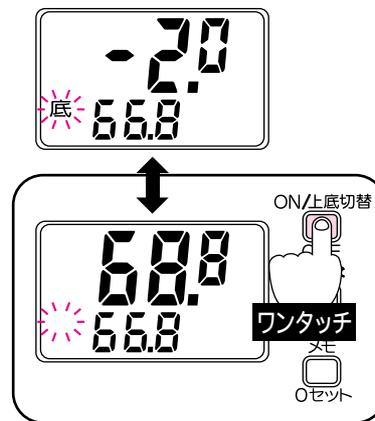
この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

NEWデジタナSLS小船1000EVは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と、底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。



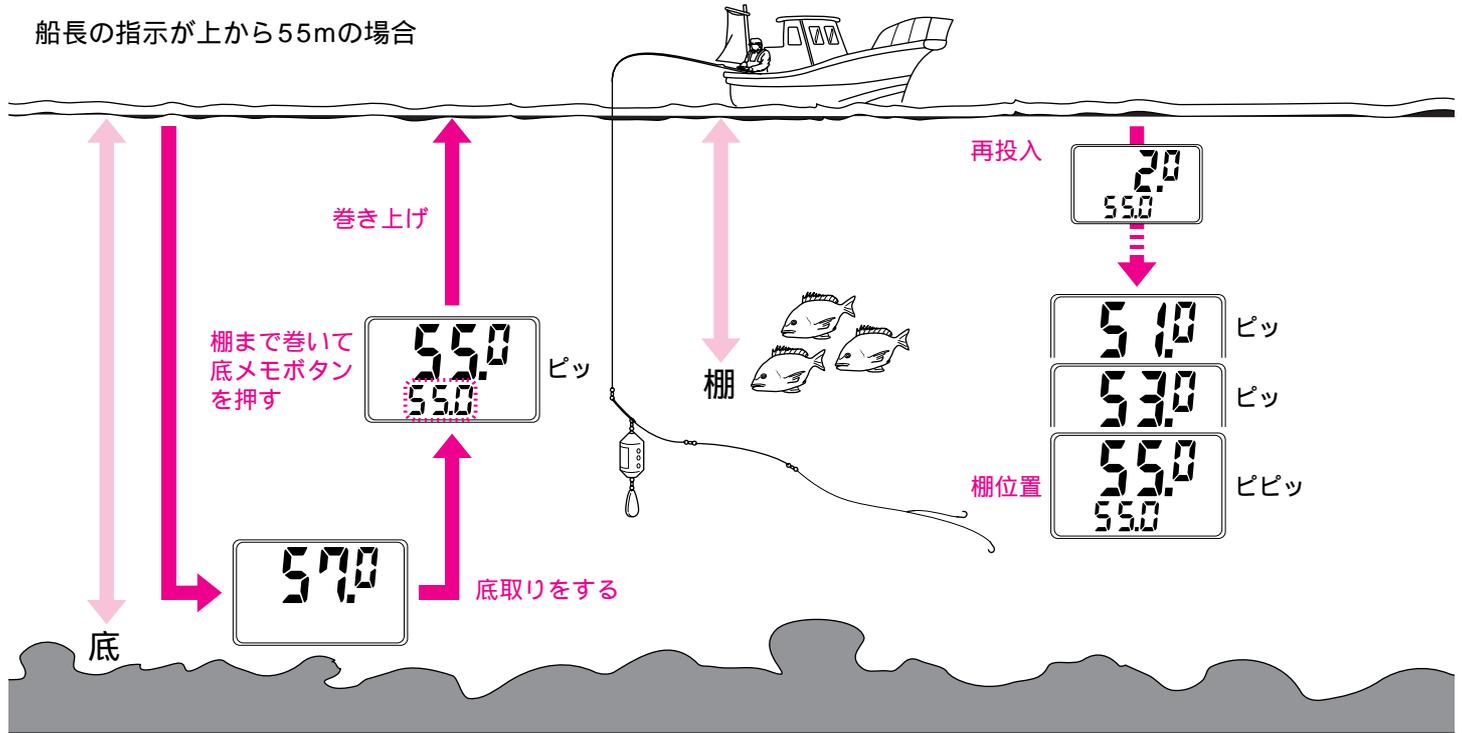
### モードの切り替え方法

ON/上底切替・OFFボタンを押してください。「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。「底」の表示は底からモードです。表示のない場合は上からモードです。



# 上からモードの実釣編

船長の指示が上から55mの場合



- 1 シカケをいったん底につけます。
- 2 シカケを巻いて棚に持ってきます。

- 3 底メモボタンを押して棚をメモリーします。  
以上は底取りをして底の水深を知りたい場合ですが、直接指示の水深にシカケを投入し、底メモボタンで棚をメモリーすることも可能です。

- 4 再度投入します。  
シカケを降るす方向のみ、棚の4m手前でピッ、2m手前でピッ、棚位置でピピッとアラームが鳴ります。  
1回の上げ下ろしで、1回のみ発音します。



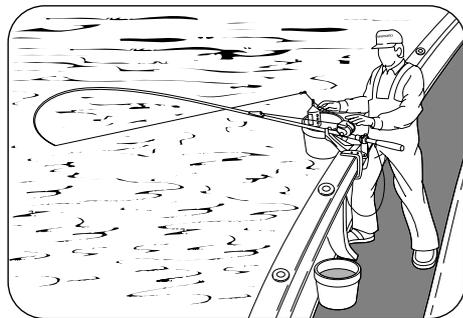
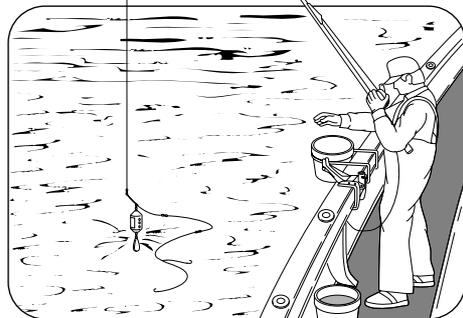
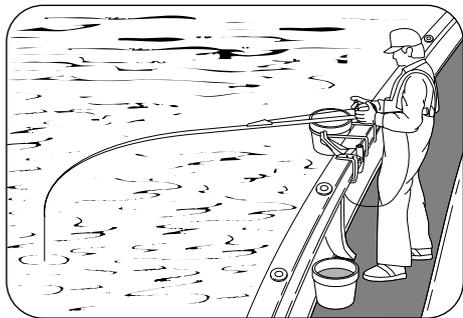
# 船ベリアラーム

## 7 船ベリアラームが自動的にセットされます。

巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来ればコマセの詰め替え・エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。このリールでは、船ベリで「ピピッ」アラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にくるように自動的に設定されるようになっています。

アラームが鳴る水深が設定されたときは「セット」の表示が2秒間点灯します。

電源投入時初回のみ6mで船ベリアラームが設定されています。2回目以降はコンピュータが自動的に判断して、シカケは前回の投入の位置で自動設定します。（この機能は1m～6mの範囲で作動します。）



ピッ



ピッ



ピピッ

**1** アラームは、記憶した船ベリ停止位置よりも4m手前から、3回鳴ります。

**2** 「ピッ、ピッ、ピピッ」と3回目の「ピピッ」で、

**3** 巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

# 電池の交換方法

## 1 バッテリーアラームについて

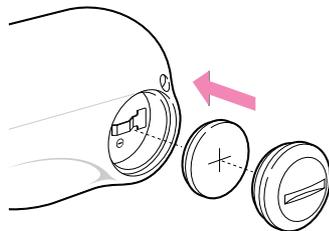
**B**マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販のCR2032ボタン電池をお求めの上（電器店もしくは釣具店で）交換してください。なお、**B**マーク点灯後も釣行3～4回は使用可能です。“Err”の表示が出れば電池寿命です。

## 2 電池の交換方法

電池交換はあらかじめCR2032のボタン電池を購入の上、必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

また、3分以内に作業を終了するようにしていただくと同時に、交換中はカウンターのボタンを押さないでください。入力されていたデータが消えることがあります。

1. バッテリーキャップをコインなどを利用してゆるめ、取り外します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池を入れます。  
(手前側が+になるように)



4. バッテリーキャップをしっかりねじ込みます。(パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実にねじ込んでください。)
5. 電源を“ON”し、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。

交換時期



電池寿命



図は上からモード時の表示です。  
(下からモードの場合もあります。)  
メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。

正しく交換されている場合、下図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、下図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、+-、接触等を確認してください。

図は上からモード時の表示です。(底からモードの場合もあります。)  
保存されていないと図のデータが保存されている場合  
下段のような表示になります。保存されていなかった場合には、再度学習を行ってください。  
(6～11ページ参照)



データが保存されていない場合



### 交換時のご注意

電池交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。  
電池交換中はカウンターのボタンを押さないでください。  
屋内の湿度の低い場所で行ってください。  
バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。  
電池の+-をまちがえないようにしてください。  
リールに内蔵の電池はテスト用ですので寿命の短いことがあります。

# お取り扱い上の注意

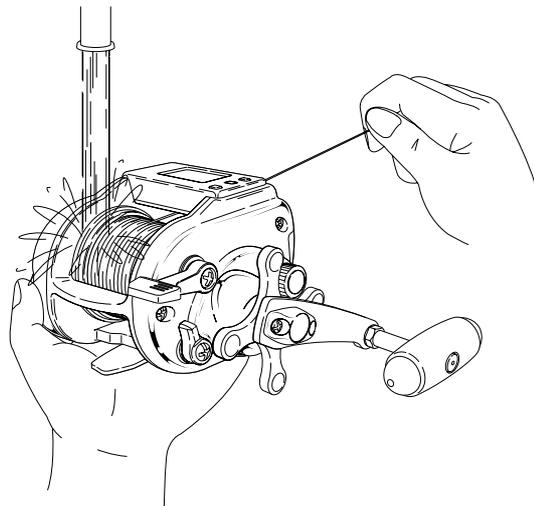
リールは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。  
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

## 1 リールのお手入れ方法について

この1000EVはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、簡単にメンテナンスできるシステムになっています。

用意するもの：リール・中性洗剤・スポンジ

1. 水道水をリールにかけながら、洗剤を含ませたスポンジで汚れを落とします。
2. 水をかけて洗剤を落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。  
(右図参照) これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 影干ししてよく乾燥させてください。  
水中に浸けて洗わないでください。



## 2 ご使用上の注意

根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、ハサミなどで糸を切るようにしてください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げ投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。

リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようにご注意ください。

## 3 お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

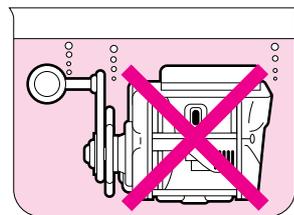
リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。

ドラッグ部分には絶対オイルを付けないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は、水に浸したりしないでください。

(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したりしないでください。)



# 仕様

## 4 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) 新素材デュラPE糸使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ボール ベアリング
デジタナSLS 小船1000EV	RF411000	4.6:1	6.5	390	4-250 5-200 6-150	64	44/37	1
デジタナSLS 小船2000EV	RF412000	4.6:1	6.5	395	4-300 5-250 6-200	64	44/37	1

標準付属品：布袋、取扱説明書、分解図

糸巻量の太字は指定糸です。

# 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。

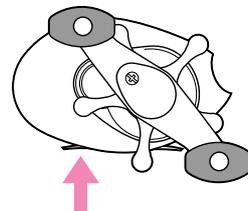
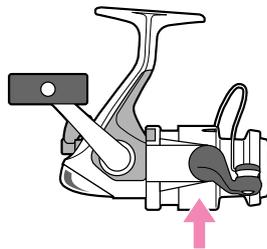
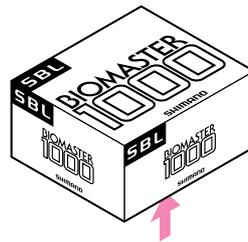
その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが働かない）お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。

修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。

内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。



例/商品名 : バイオマスター 1000  
製品コード : SC371000  
部品番号 : 2  
部品名 : スプール

製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています）

# 故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が点灯しない。	ON/OFFボタンを押して下さい。他のボタンでは点灯しません。 電池切れ、+ - のまちがいなどを確認してください。	6、18
学習モードにならない。	モードボタンを何回か押して再度確認下さい。	6
学習セットにならない。	巻き取り長さが学習セット条件を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上確認下さい。 30m以上の糸長さでの学習をおすすめいたします。	
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。	6～11
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びて不正確になっているときがあります。（特にナイロン糸）	6～11
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。低温（-5℃以下）にて使用の場合 電池の能力低下で表示がうすくなる場合があります。 そうでない場合は電池の寿命と考えられます。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。	18
ブザーの音に合わせて液晶がチカチカする。	電池の消耗によるものです。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。 その他の機能については問題ありません。	18

表示が下図のようになるときは...

	電池の消耗によるものです。 学習データ保護のため、すみやかに電池を交換してください。	18
	電池交換時に学習データが保存されていなかった場合の表示です。 お手数ですが、再度学習をおこなってください。	6～11 18

# 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

## 警告



ハンドルとボディの間に手をはさまれないように注意してください。けがの原因となります。

## 注意



糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがの原因になる恐れがあります。

レベルwind付リールでは、糸をリードするレベルwindの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがの原因になる恐れがあります。

リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないよう注意してください。リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になる恐れがあります。



糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでけがの原因になる恐れがあります。

ドラッグ装置を長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなる恐れがあります。

## 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所  
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 大宮営業所  
〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL.(048)622-3815

株式会社シマノ 東京営業所  
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所  
〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所  
〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(0559)62-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所  
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所  
〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85 TEL.(06)418-4541

株式会社シマノ 岡山営業所  
〒700-0941 岡山市青江930-12 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 広島営業所  
〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL.(082)255-8143

株式会社シマノ 四国営業所  
〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ 九州営業所  
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

北海道釣具サービスセンター  
〒065-0010 札幌市東区北十条東1丁目 TEL.(011)752-6622

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペックに関するお問い合わせ TEL.(0722)23-3739

広告、カタログ、イベントに関するお問い合わせ TEL.(0722)23-3466

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ TEL.(0722)43-2851 / FAX.(0722)43-2860

**SHIMANO**